

大本山永平寺：七堂伽藍（僧堂）

僧堂は僧侶が食事をし、睡眠をとり、坐禅を行う場所である。僧堂は永平寺の三黙道場の1つであり、修行中は私語を交わしてはいけない場所であり、永平寺で最も重要な場所の1つと見なされている。お堂は1901年に再建された。

僧堂の中央にある祭壇には、知恵の菩薩である文殊菩薩像が安置されている。菩薩は獅子に乗って刀を持ち、無知を切りさくような姿が多いが、僧侶が坐禅をしている姿も描かれている。